

## 「大人が積極的に機会を」

### 奄美の伝統・文化継承を考える

奄美大島5高校研修  
PTA



2015年度奄美大島5高校PTA研修会が4日、大島高校多目的ホールであつた。奄美大島にある高校関係者約80人が出席。「子どもたちに奄美の価値

をいかに受け継ぐか」一般社団法人「Shall we Design」代表理事の酒井一徳さんと、奄美観光大使でトネヤ株代表の中順子さんに依頼。島出身のUターン者の酒

方「島外に出て友人に

美しい魅了された山中さん。内外両方からの奄美の文化の見考え方を、それぞれの立場から講演した。

井さんと、島外者で奄美について聞かれたとき、「ちゃんと答えられない」と伝統文化に触れなかつたことへの後悔も語った。

Uターンし同法人を立ち上げ以降、大和村や宇検村のパンフレットデザインを手掛け『島民に奄美を知つてもらつ』ことから尽力。今年3月には「奄美だからできる」と、奄美

奄美について聞かれたとき、「ちゃんと答えられない」と文化教育の機会を作ることを話した。

山中さんは奄美群島に住む高齢者の姿に「奄美の魅力は伝統の中に生きてきた、高齢者の方々にある」と講演。和服の頻度を高めようと、簡単に着脱ができるよう設計した着物「奄美式部」を紹介。

酒井さん  
「奄美でしかできないことを」と話した



簡単に着脱できる和装「奄美式部」をまとい、講演した山中さん

奄美について聞かれたとき、「ちゃんと答えられない」と文化教育の機会を作ることを話した。

山中さんは奄美群島に住む高齢者の姿に「奄美の魅力は伝統の中に生きてきた、高齢者の方々にある」と講演。和服の頻度を高めようと、簡単に着脱ができるよう設計した着物「奄美式部」を紹介。

「一枚で着こなしができる大島紬を裁断するのは忍びないが、とにかく大島紬の良さは着てもらえればわかる」と熱弁。目前で着付けよりも短時間で大島紬を着用してみせると、会場からは「成人式にいいかもしないなど」と声が挙がつた。